

平成29年度 事業計画

県身協では、県内すべての障害者と各種団体等との連携を深め、障害者の自立と社会参加を推進し、障害者福祉向上のため、積極的な事業活動を強化推進できるよう、次のとおり平成29年度の事業を実施します。

1. 基本方針

- 第1 障害者のニーズの把握に努め、社会福祉に関する情報収集と提供、啓発活動を積極的にを行い、社会活動への参加と自立を推進していきます。
- 第2 障害者が心豊かに安心して生活できる社会を実現するために、他団体との連携を図ります。
- 第3 障害者スポーツ活動及び青年部活動などの活

- 性化を図り、あわせて新規会員加入を促進するとともに会員相互の親睦・結束を図ります。
- 第4 市町村行政との関わりを密にし、市町村障害福祉計画の策定に積極的に参画し、意見の反映を図ります。
- 第5 県身協の財源確保のため、収益事業に積極的に取り組みます。また、賛助会員の加入促進を図ります。
- 第6 「青森県身体障害者福祉センターねむのき会館」の効果的、効率的な運営を図ります。
- 第7 東日本大震災の復興支援と、災害時における障害者対応の防災対策の充実を図ります。
- 第8 「公益目的事業」を推進していきます。

2. 具体的な計画（主なもの・日程）

日 時	行 事 名	場 所
平成29年 5月29日（月） ～6月1日（木）	日本身体障害者福祉大会への参加 第1日目 評議員会 第2日目 第62回日本身体障害者福祉大会 ぎふ清流大会	岐阜市 岐阜メモリアルセンター・で愛ドーム
6月22日（木） ～23日（金）	東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会 団体長等会議	大鰐町 大鰐温泉不二やホテル
7月29日（土）	ねむのき夏まつり	ねむのき会館駐車場ほか
	障害福祉に係る研修会	ねむのき会館大研修室
8月27日（日）	第25回青森県障害者スポーツ大会 開会式・陸上・フライングディスク	青森県総合運動公園 陸上競技場・補助競技場
9月3日（日）	第25回青森県障害者スポーツ大会 水泳・アーチェリー・卓球・バレーボール	新青森県総合運動公園
9月10日（日）	第25回青森県障害者スポーツ大会 ソフトボール	青森県立青森第二高等養護学校 グラウンド
9月24日（日）	第25回青森県障害者スポーツ大会 ボウリング	アオモリボウル
10月22日（日）	第43回青森県身体障害者福祉大会・八戸大会	八戸市 南郷文化ホール
10月26日（木） ～31日（火）	第17回全国障害者スポーツ大会 愛顔つなぐえひめ大会	愛媛県総合運動公園陸上競技場ほか
11月11日（土） ～12日（日）	障害児・者総合福祉展 ～心身に障害のある人たちが丹精こめた 作品の展示、即売会～	マエダガーラモール店1階催事場
11月16日（木）	東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会	盛岡市 つなぎ温泉ホテル紫苑
12月2日（土）	第12回ねむのきアートフェスタ2017 ～障害者の芸術発表の場～	県民福祉プラザ4階
平成30年 2月24日（土）	ねむのき冬祭り	ねむのき会館体育館ほか

平成28年度
一般会計
(県身協法人会計)
収支決算書

自 平成28年4月1日
至 平成29年3月31日

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
1 事業活動収入				
(1) 会費収入	2,077,000	1,902,511	174,489	4 団体未納
(2) 補助金・委託金等 ☆	11,984,740	11,984,740	0	差別解消相談事業、全国障害者スポーツ大会等
(3) 寄付金収入 ☆	288,000	288,000	0	共同募金・日身連収益事業
(4) 諸収入金	462,000	460,556	1,444	駐禁除外標章手数料等
(5) 基金繰入 ☆	3,490,184	3,490,184	0	福祉創成基金・障害者スポーツ振興基金取崩し
(6) 退職積立金繰入	0	0	0	
収入合計 (A)	18,301,924	18,125,991	175,933	
2 事業活動支出				
(1) 運営費支出	2,217,000	1,139,152	1,077,848	
人件費 ☆	1,000,000	5,000	995,000	アルバイト賃金
会議費	250,000	254,510	▲ 4,510	
事務費	377,000	313,100	63,900	事務用品・役務費等
退職金	400,000	400,542	▲ 542	ねむのき会計へ400,000円、利息分542円は積立金
諸支出金 ☆	190,000	166,000	24,000	日身連負担金等
(2) 事業費支出	15,984,924	14,583,610	1,401,314	
一般事業	4,000,184	2,596,849	1,403,335	
県身障福祉大会費 ☆	481,000	463,142	17,858	開催地実行委員会へ助成
青年部会対策費	20,000	20,000	0	
広報費	250,000	211,311	38,689	県身協だより年2回
全国会議等派遣費 ☆	270,000	165,450	104,550	
6 地域福祉協議会 ☆	300,000	300,000	0	
市町村活動費	79,000	78,471	529	
地域福祉リーダー等研修会	40,000	27,795	12,205	他事業と併催
ねむのき祭り開催事業費 ☆	70,000	72,511	▲ 2,511	
障害者社会参加促進事業 ☆	940,000	209,802	730,198	
身障スポーツ基金運用事業 ☆	1,550,184	1,048,367	501,817	
補助事業 ☆	10,144,700	10,144,700	0	全国障害者スポーツ大会等
委託事業	1,840,040	224,955	1,615,085	差別解消相談事業、身障相談員強化事業等
(3) 予備費	100,000	18,974	81,026	
(4) 基金戻入	0	2,227,468	▲ 2,227,468	
(5) 投資活動支出	0	1,000,000	▲ 1,000,000	活動資金積立
支出合計 (B)	18,301,924	18,969,204	▲ 667,280	
当期収支差額 (A) - (B)		▲ 843,213		
前期繰越収支差額		1,438,765		
次期繰越収支差額		595,552		

※収入の部の差異の▲印は収入増を示し、支出の部の差異の▲は支出増を示す。
予算額は現計予算（補正予算）を示す。 ☆は平成28年度公益目的事業実施報告書の掲載科目

(単位：円)

平成29年度
一般会計
(県身協法人会計)
予算書

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減	備 考
1 事業活動収入				
(1) 会費収入	2,077,000	2,077,000	0	
(2) 補助金・委託金等	11,336,000	11,984,740	▲ 648,740	差別解消相談事業、全国障害者スポーツ大会等
(3) 寄付金収入	631,000	288,000	343,000	日身連収益事業
(4) 諸収入金	281,000	462,000	▲ 181,000	駐禁除外標章手数料等
(5) 基金繰入	2,340,000	3,490,184	▲ 1,150,184	福祉創成基金・障害者スポーツ振興基金取崩し
(6) 退職積立金繰入	0	0	0	
収入合計	16,665,000	18,301,924	▲ 1,636,924	
支出の部				
(1) 運営費	2,343,000	2,217,000	126,000	
会議費	250,000	250,000	0	
人件費	1,000,000	1,000,000	0	福祉基金充当
事務費	503,000	377,000	126,000	
退職金	0	0	0	
諸支出金	590,000	590,000	0	
(2) 事業費	14,222,000	15,984,924	▲ 1,762,924	
一般事業	2,886,000	4,000,184	▲ 1,114,184	
県身障福祉大会開催費	500,000	481,000	19,000	
青年部会対策費	20,000	20,000	0	
広報費	250,000	250,000	0	
全国会議等派遣費	270,000	270,000	0	
地域福祉協議会活動費助成	300,000	300,000	0	
市町村活動費	96,000	79,000	17,000	
地域福祉リーダー等研修会	40,000	40,000	0	
ねむのき祭り開催事業費	70,000	70,000	0	
障害者社会参加促進事業	800,000	940,000	▲ 140,000	
障害者スポーツ振興費	540,000	1,550,184	▲ 1,010,184	スボ基金充当
補助事業	9,513,000	10,144,700	▲ 631,700	全国障害者スポーツ大会等
委託事業	1,823,000	1,840,040	▲ 17,040	差別解消相談事業、身障相談員強化事業等
(3) 予備費	100,000	100,000	0	
支出合計	16,665,000	18,301,924	▲ 1,636,924	

また副会長には、うとう心臓友の会会長（青森市）鶴賀晃氏、八戸市身体障害者団体連合会会長（八戸市）東山国男氏、むつ市身体障害者福祉協会会長（むつ市）川端稔氏がそれぞれ再任されました。

任期は定款により、選任後の4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議会の終結の時までです。

第62回日本身体障害者福祉大会「ぎふ清流大会」の開催

第62回日本身体障害者福祉大会ぎふ清流大会が平成29年5月30日(火)から31日(水)の二日間の日程で岐阜メモリアルセンター・で愛ドーム(岐阜県岐阜市)を会場として盛大に行われ、全国から約2500人が集結し、青森県からは10人が参加しました。

式典は社会福祉法人たんぽぽ福祉会の方々による

太鼓演奏により華やかに開始されました。今回の式典で会長表彰者として、本県からは、篠崎一夫様(大間町)が受賞されました。続いての議事では平成28年度事業報告、平成29年度事業計画について説明が行われました。大会宣言、大会決議がなされ満場の拍手で採択されました。

次の開催は群馬県が予定されています。

第62回日本身体障害者福祉大会「ぎふ清流大会」

大会スローガン

- ・ユニバーサルデザイン2020行動計画の完全実施を求めよう
- ・災害時の障害者支援体制を確立させよう

大会宣言

障害に対する理解促進が一層求められるなか、ここ岐阜県において、全国から参加した多くの仲間とともに、第62回日本身体障害者福祉大会を盛大に開催することができた。

日本身体障害者団体連合会は、障害者権利条約のスローガンでもある「私たち抜きに私たちのことを決めないで」を掲げ、同条約が反映された国内法整備の実現をめざし、日身連加盟団体ならびに障害関係団体と強く連携し、活動に邁進してきた。こうした活動が実を結び、本年2月に閣議決定された「ユニバーサルデザイン2020行動計画」の作成にいたったと理解している。

私たちがめざす共生社会は、すべての人の人権と尊厳が守られ、自己選択、自己決定による自立した暮らしの実現と、障害に対する社会的障壁が取りのぞかれた社会である。そして、何よりも平時はもとより災害や非常時において、何ら不安なく生活が営める地域社会である。

日本のどこにおいても、障害を理由とする差別の禁止と



合理的配慮の提供が、当たり前のこととして受け入れられ、定着させることが、喫緊の課題である。障害者差別解消法を全国に根づかせ成長させることを、私たち障害者団体の役割の一つと再確認し、明日の活動につなげていこうではないか。

日本身体障害者団体連合会に結集する私たち障害のある者は、障害者権利条約のもと、「ユニバーサルデザイン2020行動計画」が障害者施策に実行されることを求め、全国の会員ならびに加盟団体と強く連携し、一致団結して行動することを誓い、ここに宣言する。

大会決議

- 一、心のバリアフリーの推進を図ろう
- 一、障害の社会モデルの考え方を全国に広げよう
- 一、障害者差別を禁止する条例を全国に制定させよう
- 一、地域の相談支援体制に身体障害者相談員を活用させよう
- 一、会員減少に歯止めをかけ、組織の活性化を図ろう

「全国身体障害者福祉大会参加の旅」in 岐阜県 スナップショット



岐阜メモリアルセンター・で愛ドーム



高山陣屋



明善寺(白川郷)

平成29年度東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会団体長等会議開催

平成29年6月22日(木)～23日(金)の両日、大鰐町「四季の湯」不二やホテルに於いて、東北・北海道ブロックの会長及び事務局長等が出席し、情報交換や諸問題を協議し、各団体間の連携を深め、身体障害者福祉の一層の推進を図ることを目的とす



る標記会議が開催されました。

会議は、山田金治会長の歓迎のあいさつ、阿部一彦東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会会長(日本身体障害者団体連合会会長、仙台市障害者協会会長)のあいさつ、県障害福祉課館野義春課長代理のあいさつで始まりました。

阿部会長から「国および日身連の動き」についての報告、ブロックからの日身連への要望事項の協議、情報交換(障害者差別解消法についてなど)が話し合われました。

交流会も行われ、山田年伸大鰐町町長の歓迎のごあいさつをいただき、ブロックの交流を深めました。

来年は仙台市で開催されます。

第43回青森県身体障害者福祉大会・八戸大会の開催

第43回青森県身体障害者福祉大会・八戸大会を下記の日程で開催いたします。

日時

平成29年10月22日(日) 13:00～15:00

場所

八戸市南郷文化ホール

(八戸市南郷大字市野沢字中市野沢24-1)

八戸市は平成29年1月1日中核市へと移行されました。その記念すべき年に、この大会が、さらなる賑わいあふれる街へとなる機会となればと思います

す。皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

参加方法等は後日、市町村福祉会を通してご案内いたします。



昨年度の様子(青森大会)

駐車禁止除外指定車標章について

駐車禁止除外指定車標章は、身体障害者手帳所持者が、駐車禁止から除外される制度です。この制度は福祉団体が活動して出来た制度です。各市町村福祉会でこの代行手続きをしていますので是非ご利用ください。

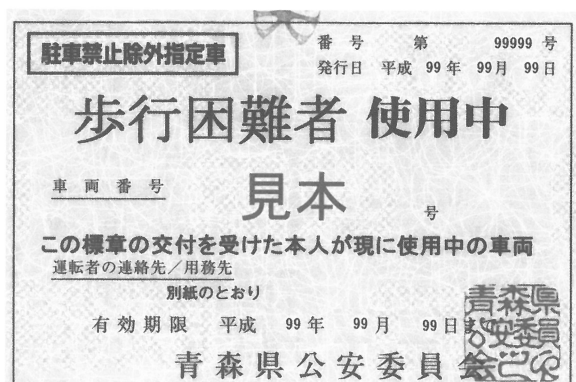
手続きしていただく場合は、各地域福祉会(市町村社協など)に障害者手帳、印鑑及び手数料(手数料は各福祉会で確認してください)を持参してください。

また、有効期限を過ぎても、更新をしない方が年間100名程度ありますが、利用しない場合は手続きをした福祉会か、県身協事務局に「標章」を返納してください。

警察署では、有効期限が過ぎても返納しない方が

あまりにも多いので、大変忙しいところ、直接電話や案内を郵送しているそうです。

以上のことをご理解のうえ、該当する方はできるだけ各地域福祉会で手続きされるようご協力をお願いいたします。



「第12回ねむのきアートフェスタ2017」 出場者・出品者募集



青森県内の障害者が一堂に集い、優れた技能や芸術を広く県民に発し、より多くの可能性を掘り起こすことにより、芸術文化活動の推進と理解をめざすことを目的に「第12回ねむのきアートフェスタ2017」が開催されます。

昨年度は、ピアノや歌、踊り、楽器演奏などの舞台発表、絵手紙や木工品などの作品展示、フラワーアレンジメント体験などがありました。

舞台発表や作品展示に興味のある方は、青森県身体障害者福祉センターねむのき会館（017-738-5033）へお問い合わせください。

皆さまのご参加、ご来場をお待ちしております。



日 時	平成29年12月2日（土） 11:00～15:00
場 所	県民福祉プラザ4階 県民ホールほか
入場料	無料
内 容	舞台発表・作品展示等

青森県障害者差別解消相談窓口について

障害のある人が差別的な取り扱いを受けたり、合理的配慮をしてもらえなかったりなど、困ったことがありましたら、青森県障害者差別解消相談窓口へご相談ください。

①まずはご相談ください。

障害があることを理由に「嫌な思いをした時」や「困ったこと」があった場合には、まずはご相談ください。

②助言・調整します。

相手方との調整が必要であれば、相談員がくわしい事情を相手方に聞いたり、話し合いの場を持ったりして、解決を目指します。

③あっせん等について

助言調整の手続きをしても解決しなかった場合は、さらなる解決に向けた取り組みをします。

④解決に向けた取り組みとは

障害があることで差別を受けたり、嫌な思いをし

たりした場合に、なぜそうなったのか、どうすれば解決できるかを考える機関が、「青森県障害者差別解消支援地域協議会」です。県、障害のある人や支援者、法律の専門家、障害の分野を研究している人、事業者などが意見を出し合って、一緒に考えます。



青森県障害者差別解消相談窓口

＝受付時間＝

月曜・水曜・金曜及び、第3日曜日
10:00～16:00

※祝日・年末年始を除く

TEL: 017-728-3820

FAX: 017-764-2942

障害のある人も無い人も、互いに、その人らしさを認め合いながら、生きる社会をつくることを目指しています。



障害者のための何でも相談

障害者110番

＝受付時間＝
火曜・祝日・年末年始を除く毎日
10:00～16:00

TEL: 017-764-2941
FAX: 017-764-2942

JRジパング倶楽部特別会員制度

■入会資格…身体障害者手帳を受けている方。
男性60歳以上、女性55歳以上の方。

■年会費…1,350円

201km以上の
JRの乗車券割引

お申し込み・お問い合わせは
県身協事務局、または地元福祉会まで

